

2020年度

不二サッシグループ 決算説明資料

2021年5月13日

不二サッシ株式会社

I. 2020年度 決算の概要

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
非木造建築物着工床面積(万㎡)	7,730	7,514	7,011	6,452
前年比(伸び率)	-0.2%	-2.8%	-6.7%	-8.0%
新設住宅着工戸数(万戸)	94.6	95.3	88.4	81.2
前年比(伸び率)	-2.8%	0.7%	-7.3%	-8.1%

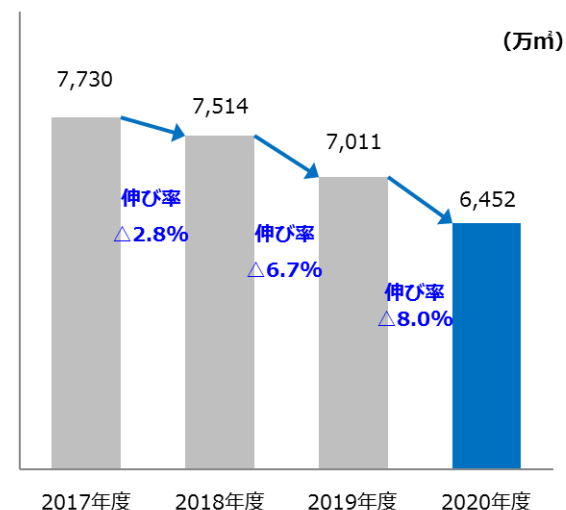
■ 非木造建築物着工床面積

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、倉庫等を除き全体では大幅に減少。

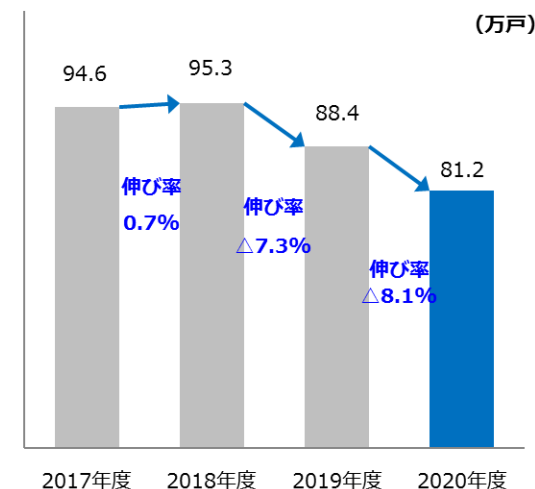
■ 新設住宅着工戸数

貸家を中心に全体的に減少したものの、マンションの減少は比較的緩やかな推移となった。

非木造建築物着工床面積(4-3月)



新設住宅着工戸数(4-3月)



2020年度 決算の業績について

【連結】

(百万円)

	2019年度		2020年度						
	実績		実績		前年同期比		公表数字	公表比	
		売上比		売上比	増減額	%		増減額	%
売上高	101,789		92,396		△9,393	90.8	92,500	△104	99.9
売上原価	87,454	85.9	78,940	85.4	△8,514	90.3	79,300	△360	99.5
売上総利益	14,334	14.1	13,456	14.6	△878	93.9	13,200	256	101.9
販管費	13,738	13.5	12,922	14.0	△816	94.1	13,000	△78	99.4
営業利益	596	0.6	534	0.6	△62	89.5	200	334	267.0
経常利益	737	0.7	898	1.0	161	121.9	440	458	204.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	432	0.4	572	0.6	139	132.3	30	542	1,906.7

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上高は減収
- 損益面でも売上・物量の減少の影響を受けるものの、営業強化やコストダウン、経費の削減等により利益を確保

セグメント別 売上高・営業利益

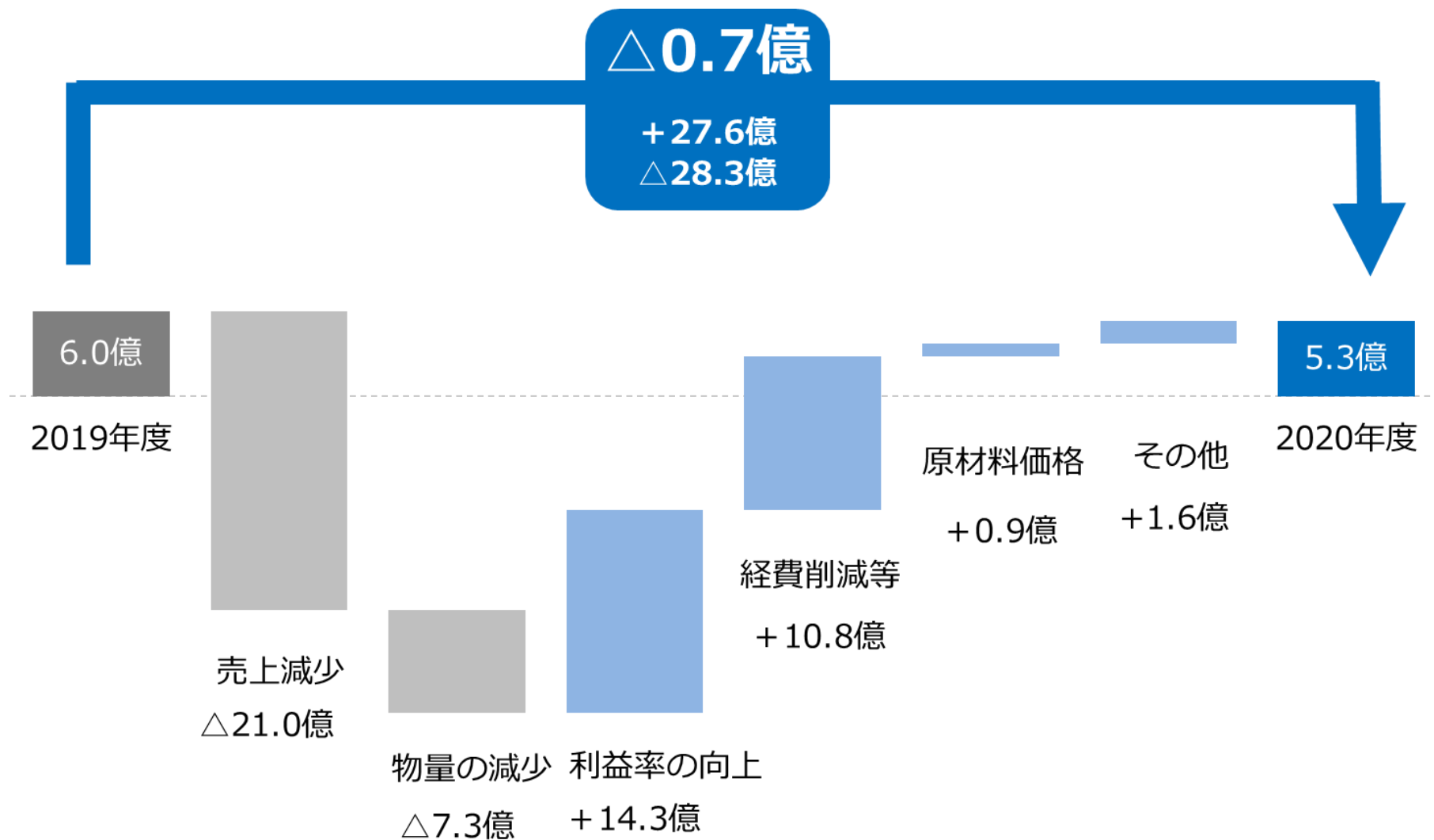
【連結】

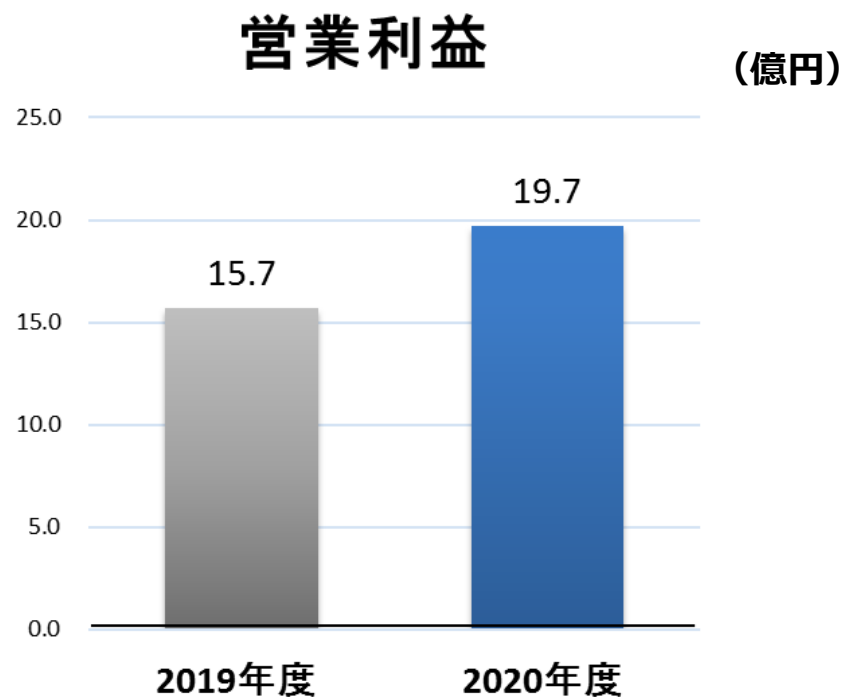
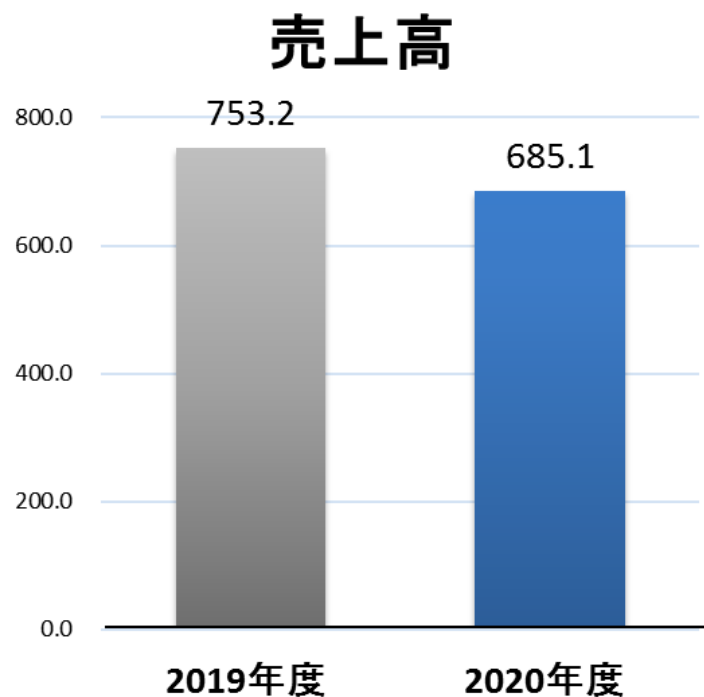
(百万円)

	売上高			営業利益		
	2019年度 実績	2020年度		2019年度 実績	2020年度	
		実績	対前年比		実績	対前年比
建 材 事 業	75,323	68,509	91.0% △ 6,814	1,571	1,969	125.3% 397
形 材 外 販 事 業	21,001	18,491	88.0% △ 2,510	25	-741	- △ 766
環 境 事 業	3,144	3,214	102.2% 69	161	251	155.9% 89
運 送 事 業	2,010	1,813	90.2% △ 197	300	337	112.3% 36
そ の 他 事 業	308	367	119.2% 58	62	154	248.4% 91
(消去又は全社)	-	-	-	(1,525)	(1,436)	89
合 計	101,789	92,396	90.8% △ 9,393	596	534	89.6% △ 62

※2020年度より、運送事業について、セグメントの変更を行っております。
それとともに、2019年度実績についても組み替え後の実績を表記しております。

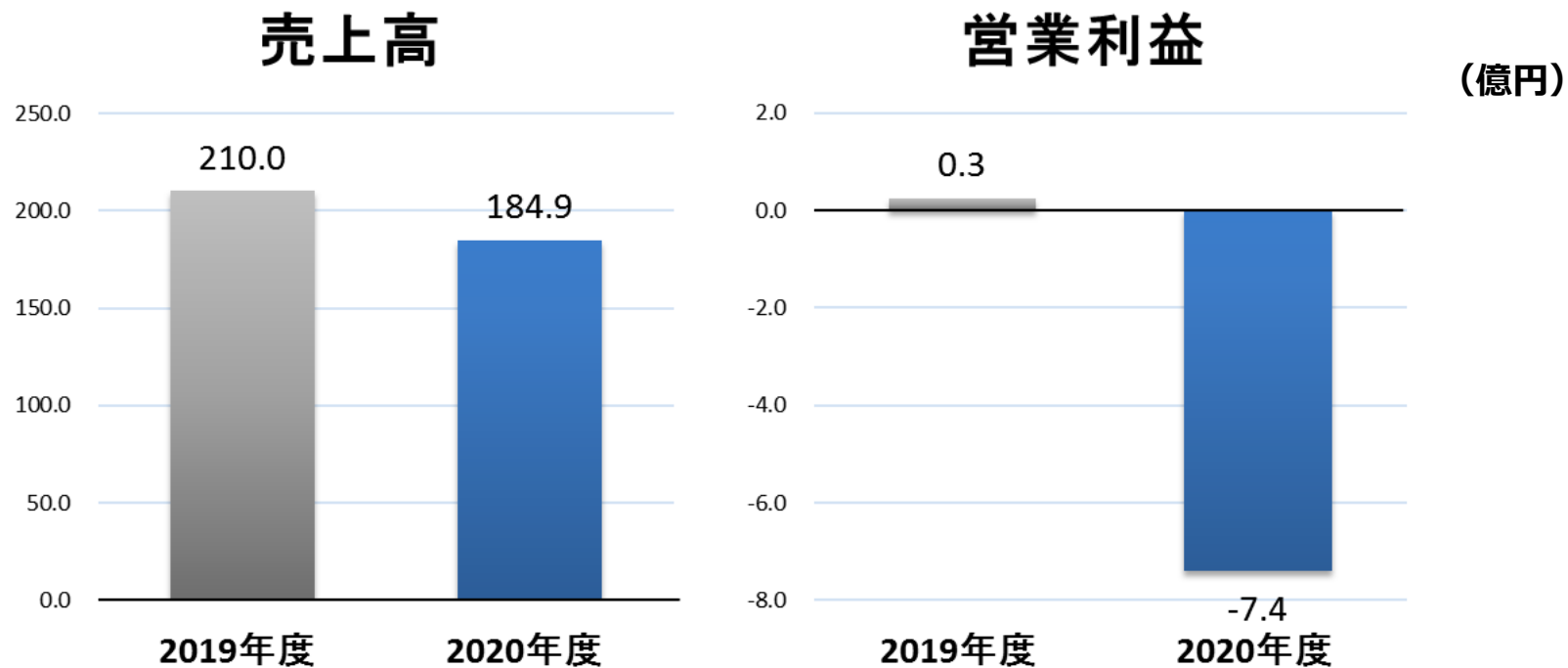
営業利益増減分析（前年比・要因別）





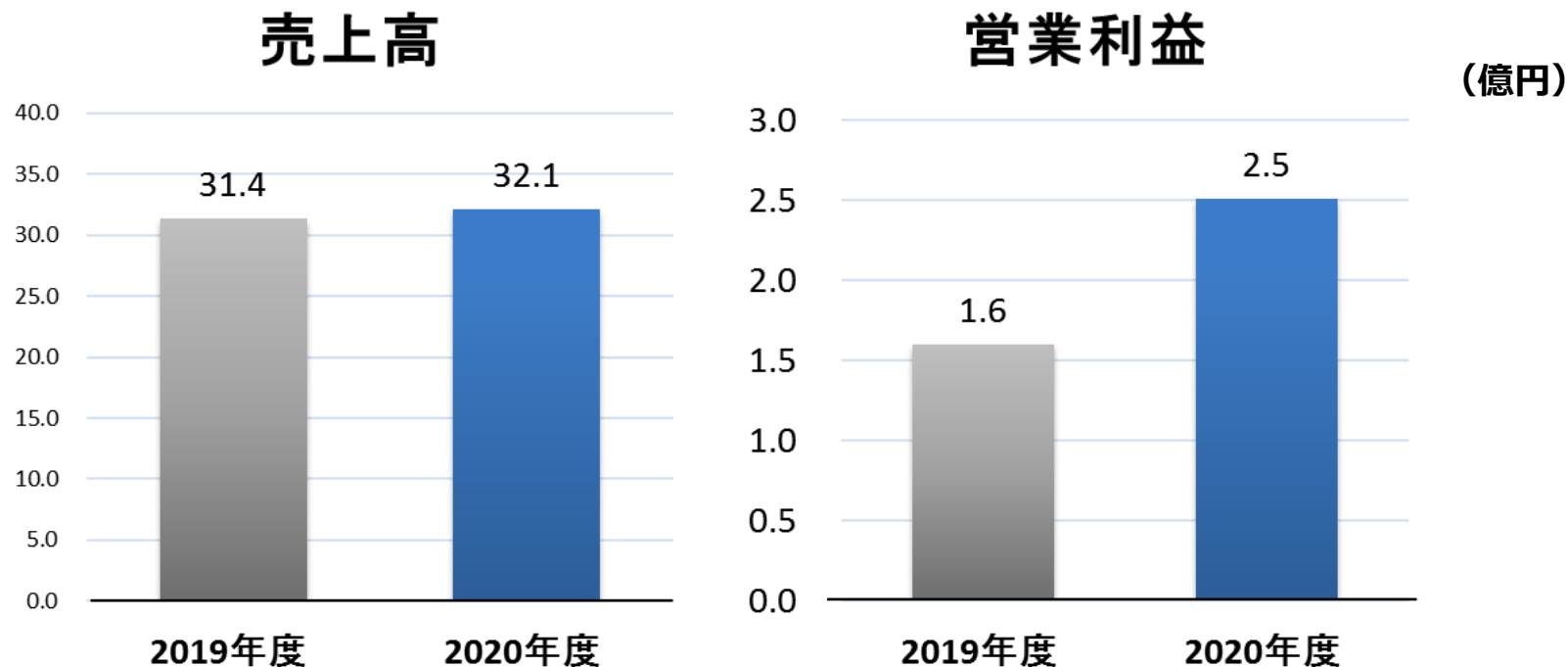
■ 売上高・営業利益

住宅建材事業の市場環境悪化と新型コロナの影響を受けたものの、ビル新築事業の営業強化や、リニューアル事業においても前年のM & Aによるシナジー効果により利益を確保したことで、減収増益



■ 売上高・営業利益

新型コロナウイルス感染症拡大の影響ならびに競争激化による受注・物量の大幅な減少により減収減益

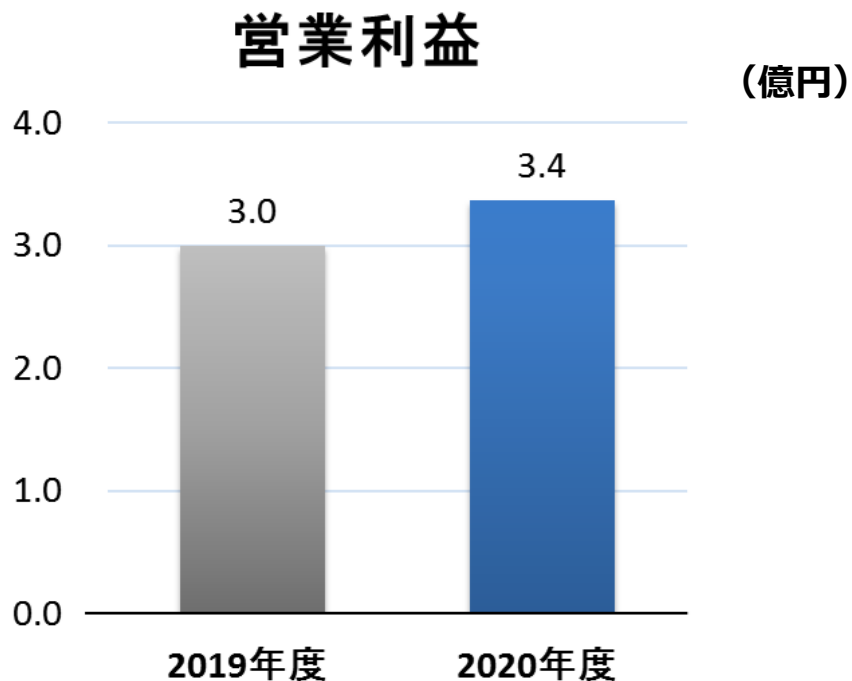
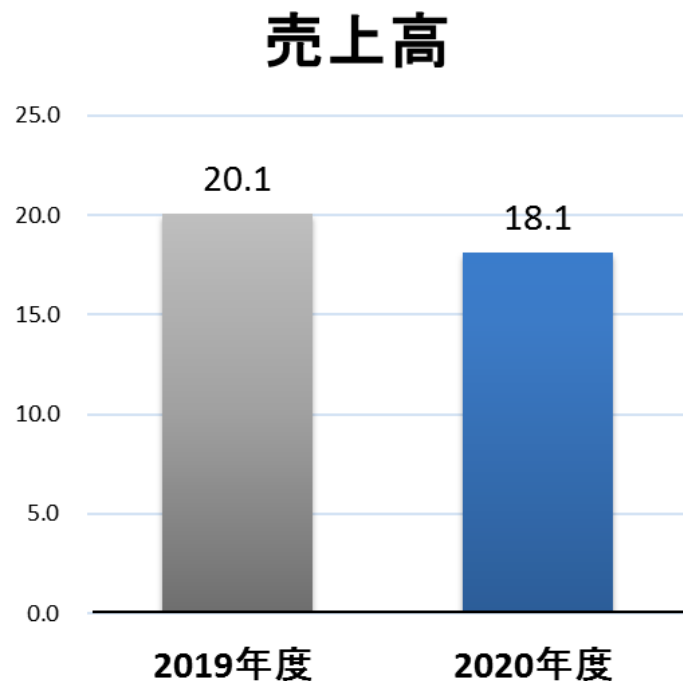


■ 売上高

事業環境の変化に加え、経済の停滞によるごみ排出量や処理施設での薬剤使用量が減少したものの営業強化により微増

■ 営業利益

メンテナンス工事の工期短縮による合理化推進や新規プラント工事での外注費削減などにより増益



■ 売上高・営業利益

サッシ・型材の物流は減少したものの、一般物流では倉庫事業の強化を図り減収増益

連結貸借対照表要旨

(百万円)

	2020年 3月末	2021年 3月末	前期末比
現金及び預金	14,325	16,583	2,258
売上債権	20,596	18,911	△ 1,685
たな卸し資産	17,830	16,606	△ 1,224
貸倒引当金	-628	-646	△ 18
その他	1,559	1,519	△ 40
流動資産計	53,682	52,974	△ 708
建物及び構築物	7,425	7,946	521
土地	13,683	13,729	46
その他有形固定資産	8,561	7,773	△ 788
投資有価証券	2,254	2,879	625
貸倒引当金	-897	-935	△ 38
その他固定資産	7,444	7,333	△ 111
固定資産計	38,472	38,728	256
資産計	92,155	91,702	△ 453

	2020年 3月末	2021年 3月末	前期末比
仕入債務	20,342	17,998	△ 2,344
短期借入金・社債	12,170	17,432	5,262
その他流動負債	12,510	11,605	△ 905
長期借入金・社債	9,284	5,648	△ 3,636
その他固定負債	17,550	17,724	174
負債計	71,858	70,409	△ 1,449
株主資本	19,434	19,823	389
その他の包括利益累計額	733	1,316	583
非支配株主持分	129	153	24
純資産計	20,297	21,293	996
負債・純資産計	92,155	91,702	△ 453

(百万円)

	2020年3月末	2021年3月末	前期末比
利益剰余金	16,923	17,307	384
自己資本	20,167	21,140	973
自己資本比率 (%)	21.9	23.1	1.2
有利子負債	21,942	23,334	1,392
1株あたり純資産 (円)	159.9	167.5	7.6
R O E (%)	2.2	2.8	0.6
E P S (円)	3.4	4.5	1.1
期末配当 (円)	1.5	1.0	△0.5

	2020年3月末	2021年3月末	前年同期比
税金等調整前当期純利益	651	1,048	397
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,830	3,487	△1,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,509	-2,346	163
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,769	1,081	2,850
現金及び現金同等物の期末残高	13,656	15,886	2,230

受注高・受注残高の推移

(百万円)

	2019年度	2020年度	前年同期比
受注高	53,883	53,980	97
受注残高	54,263	53,698	△565

設備投資及び減価償却費の推移

(百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
設備投資額	3,427	3,122	2,356	2,946	2,224
研究開発費	1,642	1,469	1,677	1,732	1,505
減価償却費	2,015	2,280	2,215	2,206	2,293

従業員の推移

(人)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
従業員数	2,946	2,948	3,002	3,078	3,055
増 減	△193	+2	+54	+76	△23

Ⅱ. 2021年度の業績予想

【連結】

(百万円)

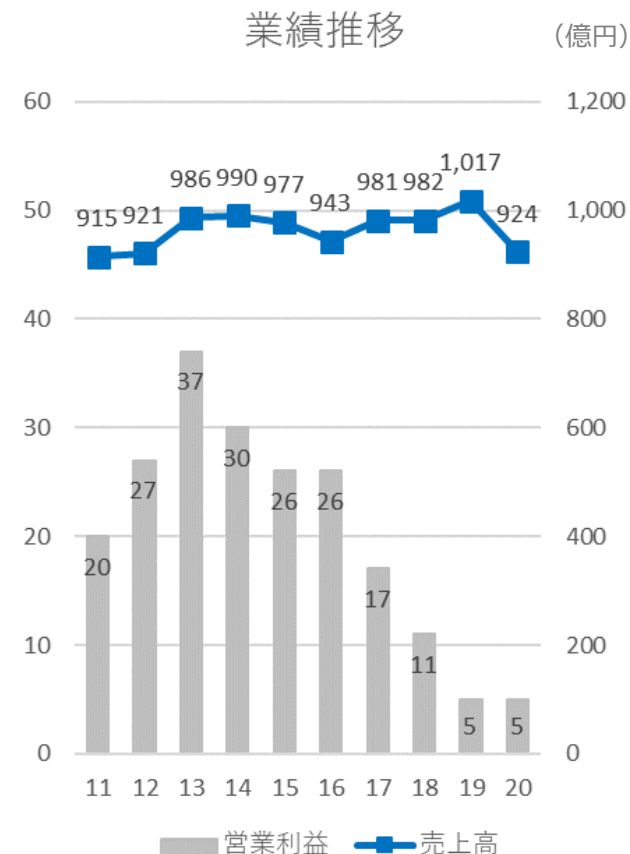
	2020年度		2021年度			
	実績		予想		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	92,396		96,000		3,604	103.9
営業利益	534	0.6	1,000	1.0	466	187.2
経常利益	898	1.0	870	0.9	△28	96.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	572	0.6	200	0.2	△372	34.9

- 2021年度は営業強化や継続的な経費削減、生産性向上を更に推し進めるとともに、形材外販事業の抜本的改革により収益確保につなげます。

Ⅲ. 次期中期経営計画について

中期経営計画(17-20年度)の振り返り

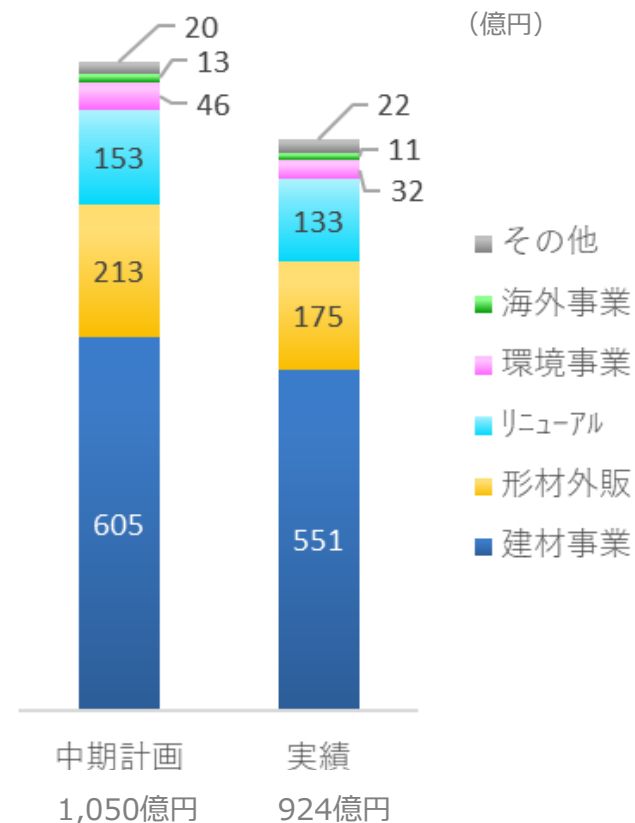
- 売上高は、19年度には1,017億円と11年ぶりに1,000億円の大台を超えたが、20年度はコロナ禍の影響を受け、924億円まで落ち込んだ。
- 建材事業においては、市場環境に則した商品設定は順調に進んだが、商品開発投資の増加により利益率は低下した。
- 形材外販事業は、市場競争激化により売上・利益率とも悪化。生産体制の見直しや不採算取引の改善等、収益力回復に向けた抜本的な取り組みを開始した。
- マンション大規模改修等のビル改装市場が停滞。コロナ禍で室内へ立ち入るサッシ改修は敬遠される一方、防水や塗装等の外装工事は堅調。



中期経営計画(17-20年度)の振り返り

- 環境事業は、ごみ焼却施設の建設が減少傾向となるなか、既存設備のメンテナンスに注力し収益力を強化。併せて取扱い商品の拡大等の事業領域拡大を図るも売上は横ばい。
- 海外拠点の新設等によりビル海外事業の営業強化を図ったが、コロナ禍による渡航制限・物流制限により停滞。
- 建材とLED照明を融合したアルビームシステムの商品ラインナップを拡充。ゼネコンや設計事務所への浸透により受注獲得に寄与。
- 運送事業において、サービスの向上・拡大によりグループ外との取引が増加。生産性を向上し収益拡大。不二サッシ(株)千葉事業所内に物流倉庫を新設し2021年4月より稼働を開始。

売上高



2021年度は、

2030年に迎える創業100年を見据えた、

事業基盤の確立を目指す**足場固めの事業年度**とする。

次期中期経営計画は、

2022年度を開始年度として策定する。

1. 稼ぐ力の向上

- (1) 変革（D X等の積極的な活用）へ挑戦し、生産性向上を図る
- (2) 採算管理の徹底、丁寧なお客様対応により、営業強化を図る
- (3) 事業領域・エリアを拡大し、新規・注力事業を強化する

2. 環境等、配慮経営の実践

- (1) S D G s 貢献への取り組み
- (2) E S G 経営の実践

3. スピード感のある改革と成果

IV. トピックス

千葉事業所に物流倉庫を新設

2021年4月1日

不二サッシ株式会社は、千葉事業所内に賃貸用物流倉庫を新設。グループで物流を担う不二倉業株式会社により、4月1日より稼働を開始しました。

近年、千葉事業所のある市原市周辺の環境は、賃貸倉庫・工場の需要が増加しており、また、首都圏物流の大動脈である国道16号線（東京環状線）にも面している利点があることから、遊休地に新倉庫を建設することで資産を有効活用するとともにこの需要に対応し、当社グループの更なる物流事業の強化を目指します。

【新物流倉庫の概要】

床面積：5944.62㎡

構造：鉄骨造

階高：1階



新物流倉庫（外装には2020年度グッドデザイン賞を受賞した光建材商品の『アルビームムーブ』を使用）

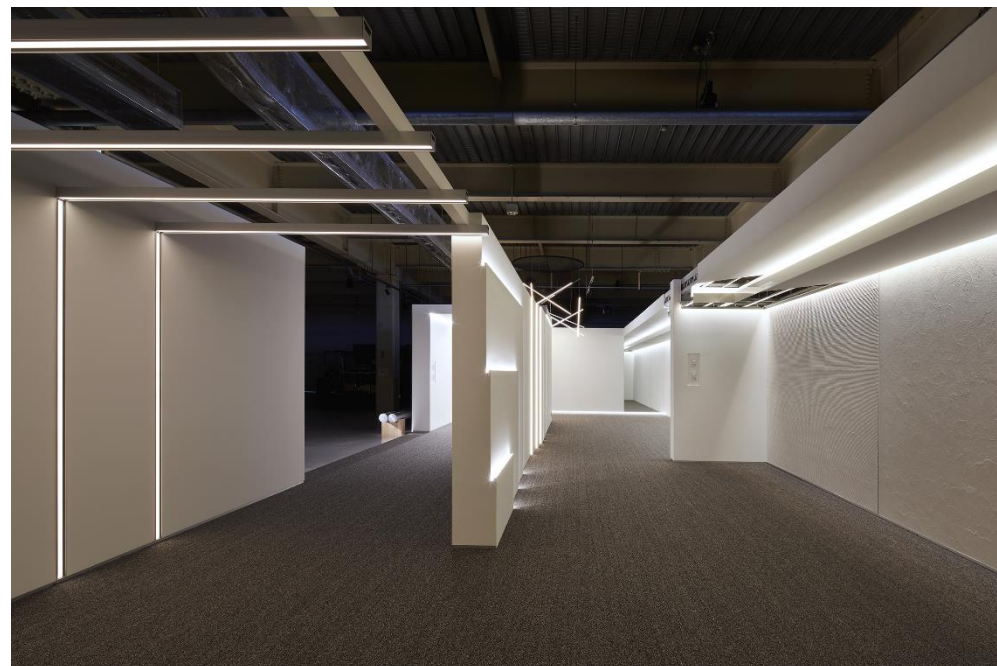
新しい建築化照明 『アルビームインテリア』

2021年4月1日

不二サッシ株式会社は、建材メーカーならではの視点により光建材『アルビームインテリア』を企画・開発。建築化照明の新たなスタイルを提案します。

アルビームインテリアは「コーブ照明用建材」「コーニス照明用建材」「スリット型照明用建材」「シームレス照明用建材」「目地照明用建材」の5タイプの新商品に、好評の「エルドロウ」「光壁」を加えた7種をラインナップ。

建材メーカーならではの視点から、アルミ素材による美しさ、シャープさを追求しながら、従来の施工を省力化することを目指した光建材により、照明器具だけでは実現できない、おさまりを含んだ建築化照明を提案します。



令和2年度 日本アルミニウム協会賞『開発賞』を受賞

2021年3月25日

自然風力換気窓「ウインブレス-EX」が、一般社団法人日本アルミニウム協会が選考する「令和2年度 日本アルミニウム協会賞」において、「開発賞」を受賞。

計画的な自然換気により空調機器のランニングコストを削減するとともに、**カーボンニュートラルに貢献するCO2排出量の削減**と建物の省エネルギー化に貢献します。



令和2年度 労働安全優良事業場『優良賞』を受賞

2021年4月23日

今後の活動

- ・「安全朝礼」「環境・安全パトロール」「安全衛生委員会」「安全衛生協議会」「衛生推進委員会」等の活動の継続
- ・社員の意識向上への取り組み

千葉工場（千葉県市原市）は、一般社団法人 日本アルミニウム協会が選考する「令和2年度 労働安全優良事業場表彰」において「優良賞」を受賞

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ